

佐賀大学附属図書館
自己点検・評価書

(対象：令和7年度)

令和8年7月

佐賀大学
学術研究部情報図書館課

目 次

I	附属図書館の目標・計画	1
II	附属図書館の概要	2
III	領域別評価	
1	教育支援	3
	(1) 資料の計画的収集	
	(2) 資料の提供・活用	
	(3) 情報リテラシー教育支援 (図書館オリエンテーション)	
	(4) 学外図書館からの文献入手 (図書館間相互貸借 ILL:Inter Library Loan)	
	(5) 読書奨励	
	(6) 自学自習環境の整備	
	(7) 広報	
	(8) 評価及び課題	
2	研究支援	6
	(1) 研究用資料の収集	
	(2) 電子ジャーナル	
	(3) 文献等データベース	
	(4) 研究情報・文献情報の電子化	
	(5) 評価及び課題	
3	社会貢献	7
	(1) 市民への情報サービス	
	(2) 公開講座 (講演会、展示会)	
	(3) 貴重資料	
	(4) 貴重資料の利用	
	(5) 評価及び課題	
4	組織運営	10
	(1) 組織の編成・管理運営	
	(2) 財務	
	(3) 評価及び課題	
5	施設・設備	13
	(1) 施設、設備等の整備状況	
	(2) 施設、設備等の利用状況	
	(3) 評価及び課題	

I 附属図書館の目標・計画

1 第4期中期目標期間（令和4年度～令和9年度）における目標及び計画

附属図書館は、佐賀大学における教育、研究及び社会貢献等の諸活動を支援するため、必要な図書、雑誌等の資料はじめ学術情報を収集し、整理、作成、保存して提供する。特に、学生の自発的な学修・研修を実施するラーニング・コモンズ施設を整備するとともに、本学に在籍している外国人留学生及び海外に留学する学生に対する支援のため、体系的かつ網羅的に図書館資料を収集する。また、研究を推進するための電子ジャーナル・文献データベース等の情報コンテンツを安定的に提供する。さらに、本学の社会貢献のひとつとして、地域に開かれた生涯学習の場としての活動を推進していく。

（1）教育に関する目標・計画

能動的学修の実施、学士力の向上、グローバル化を推進するため、附属図書館は教員、学生との協働のもと、留学関連の図書をはじめ図書館資料の整備、利用を支援する。また、学生の能動的学修を支援するため、ラーニング・コモンズを整備し、学修環境を整備する。（第4期中期計画番号3-1に該当）

（2）研究に関する目標・計画

研究環境の整備、研究成果を還元するため、附属図書館は研究を推進するための電子ジャーナル・文献データベース等の情報コンテンツを安定的に提供する。また、学内で生産される教育研究成果の発信、保存のリポジトリ機能を担う。（第4期中期計画番号5-1に該当）

（3）社会貢献に関する目標・計画

本学が生涯学習の場として機能するため、附属図書館は地域及び全国の公共図書館・大学図書館その他の組織と資料の貸出等において積極的に連携する。また、貴重書デジタルアーカイブの公開を推進するとともに、貴重資料の展示・講演会を開催して、社会に貢献する。（第4期中期計画番号11-2に該当）

（4）業務運営に関する目標・計画

IR機能を活用したエビデンススペースの経営を推進するため、附属図書館は自己評価と外部評価を定期的実施する。（第4期中期計画番号11-1に該当）

Ⅱ 附属図書館の概要

**【資料】Ⅱ-1 蔵書数、Ⅱ-2 図書受入冊数、Ⅱ-3 雑誌受入種類数、Ⅲ-1-2 電子書籍導入状況
Ⅲ-2-1 電子ジャーナル導入状況、Ⅲ-2-3 文献等データベース、Ⅲ-5-1 面積・閲覧
座席数・書架収容力**

附属図書館は、教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、理工学部、農学部がある本庄キャンパスに本館、医学部がある鍋島キャンパスに医学分館を配置する。

（１）施設・設備

本館は、鉄筋 4 階建で総面積 5,332 m²である。ラーニング・コモンズ、閲覧室、閲覧個室、グループ学習室、マルチメディアコーナー、多目的学習スペース等の利用者用スペースと、会議室、事務室等の管理スペース及び書庫等を有する。1 階から 4 階が利用者用スペースとなっている。利用者用スペースには座席 629 席を備え、無線 LAN などネットワークを利用した学修環境を整備し、学生及び研究者の学修、研究の能率向上を図るよう配慮している。

本庄キャンパスには本館建物の他に旧館書庫 332 m²を有する。

医学分館は、鉄筋2階建で総面積1,769m²である。座席215席を備え、無線LANなどネットワークを利用した学修環境を整備し、図書等の蔵書構成、配置等について十分に検討し、自学自習が効率よくできるよう配慮している。

両館とも設備・備品として、入退館管理システム（BDS）、図書自動貸出返却装置、全館冷暖房設備、エレベータを備えている。令和 6 年度からは、蔵書の一部に IC タグを入れ、蔵書管理を行っている。また、館内では、パソコン・視聴覚機器を設置している席を除き、密封できる容器に入った飲み物の飲用を認めている。

（２）図書館資料

本庄キャンパスでは、図書（視聴覚資料を含む、以下同じ）は、教育研究組織・教育課程に即し、医学・看護学を除いたほぼ全分野にわたる資料 562,205 冊を所蔵している。内訳は、和書 397,719 冊、洋書 164,486 冊である。

雑誌は、人文・社会・自然各分野にわたる国内外の学術雑誌、大学論集、紀要等合わせて 9,483 種類を所蔵する。また、附属図書館閲覧室に配架の学習用雑誌は、学術雑誌から就職に関わる受験雑誌等まで幅広く収集し、提供している。

医学分館では、図書は、医学・看護学を中心に 105,832 冊を所蔵している。内訳は、和書 66,563 冊、洋書 39,269 冊である。雑誌は、医学・看護学関連雑誌を中心に一般教養雑誌を含め 2,325 種を所蔵している。図書・雑誌ともすべて開架書架に配架し、提供している。

また、全学で利用できる電子的資料として、文献等データベース 10 種及び、主要出版社の電子ジャーナルをはじめとして全 1,879 種の電子ジャーナル、22,924 点の和書・洋書の電子書籍へのアクセスが可能となっている。

Ⅲ 領域別評価

1 教育支援

(1) 資料の計画的収集

【資料】Ⅱ-1 蔵書数、Ⅱ-2 図書受入冊数、Ⅱ-3 雑誌受入種類数、Ⅲ-1-2 電子書籍導入状況、Ⅲ-1-3 電子書籍アクセス数、Ⅲ-1-4 図書除籍冊数

本館

①資料費の確保

教育・学修支援を使命とする附属図書館では、学生用図書、電子情報資料等（以下、学生用資料）の資料費の確保は最も重要な課題の一つである。資料費は法人化直前に大学の経常経費として認定され、法人化後は図書館への基本予算として計上されている。

②学生用資料の選定と収集

学生用資料は、本学教員と図書館職員で構成する附属図書館選書専門委員会で購入計画を立案し、計画的に収集を行っている。

学生リクエストの活用や学生選書の実施、就職支援や留学支援等、関係部署と連携しての選書等、様々なニーズに対応する取り組みを行いながら、学生用図書の整備に努力している。

③シラバス掲載参考書

学習用図書として特に重点的に収集を図る必要がある資料として、シラバスに掲載されている参考書がある。新年度当初にシラバス掲載参考書を利用できる状態にするには前年度内に資料を購入し整理しておく必要があり、教員、学務部の協力によるシラバスの早期登録、シラバス中の図書情報の体系的な抽出により実現している。

令和7年度は、参考書指定された図書を90冊購入した。

④学生希望図書

学生が図書館で読みたい図書をリクエストできる「学生希望図書制度」をWebシステムで運用している。リクエストされた図書は館内で審議を経て購入している。令和7年度は57冊購入した。

⑤学生選書

読書奨励企画として、本館及び医学分館では、選書を希望する学生を公募し、学生参加型の選書を実施している。令和6年度に続き、令和7年度においても選書ツアーを開催した。学生一人ひとりが図書を自ら選定する形式で実施し、185冊を購入した。これらの図書は、図書館入口付近に特設コーナーを設置して配架した。

⑥就職支援・留学支援に関連する図書の収集

令和7年度は、学生の就職活動支援に関連する図書を35冊、また留学支援に関連する図書を40冊購入した。

⑦電子書籍

令和7年度は、シラバス掲載の参考書、学術書、一般書の電子書籍（一部読み上げ機能付き）を525点整備した。

⑧資料の除籍

書架の利便性の向上を図るため、旧版図書や受入後一定年数経過した図書を書架から除き、

10,469 冊の除籍を行った。

⑨蔵書点検

蔵書点検計画に基づき、本館（開架一般、シラバス、学生選書、教科書、特設コーナー、文庫・新書、東洋文庫、放送大学、留学生、佐藤文庫、大型図書、視聴覚資料、参考図書）、研究室貸出図書（経済学部）について、該当図書の点検を実施した。

医学分館

医学分館における研究用及び教育用の図書・雑誌の整備は、医学部教員で構成される医学分館運営委員会で検討を行っている。医学部のシラバスに掲載された指定図書、参考書を収集しているほか、学生リクエストの活用により、学生目線の選書にも留意している。

また、医学・看護学という専門の性格上、常に最新版の資料を収集するよう留意している。所蔵する専門図書、参考書の改版・新版等を積極的に収集するとともに、改版等や年月の経過により利用価値を減じた図書 1,676 冊を除籍し、書架の活性化に努めている。令和 7 年度は、蔵書点検計画に基づき、開架（NLM、NDC、視聴覚資料）、研究室貸出図書について蔵書点検を実施した。

（２）資料の提供・活用

【資料】Ⅲ-1-1 利用対象者数、Ⅲ-1-5 開館時間、Ⅲ-1-6 年間開館日数等、Ⅲ-1-7 入館者数
Ⅲ-1-8 貸出条件、Ⅲ-1-9 館外貸出状況

1) 開館時間等

本館・医学分館

資料Ⅲ-1-5 のとおり開館している。

2) 貸出条件等

本館・医学分館

資料Ⅲ-1-8 のとおり運用している。

（３）情報リテラシー教育支援（図書館オリエンテーション）

【資料】Ⅲ-1-10 オリエンテーション実績（本館）

本館

4 月中旬から 5 月末を中心に、授業担当教員の依頼により指定された授業時間を使用してオリエンテーションを実施している。初級コースと中級コースを用意しており、初級コースは基本的な図書館の利用案内、中級コースは電子ジャーナルや文献データベース等の利用方法等の説明を行っている。

医学分館

医学部の新入生（医学科、看護学科）を対象に図書館オリエンテーションを実施しており、担当教員の協力により情報基礎演習などの授業時間を利用して行っている。また、病院の新規採用者（看護師、メディカルスタッフ）にもオリエンテーションを実施している。

（４）学外図書館からの文献入手（図書館間相互貸借 ILL : Inter Library Loan）

【資料】Ⅲ-1-11 図書館間相互貸借冊数、Ⅲ-1-12 図書館間の文献複写件数

本学は国立情報学研究所の NACSIS-ILL システムを利用しているが、同システムの報告では国立大学全体で利用件数が減少している。これは各国立大学が電子ジャーナル・パッケージを導入したために、各大学で読むことのできるタイトル数が飛躍的に増えたこと、論文のオープンアクセス化による影響と考えられる。本学においても、文献複写や図書の貸借件数が依頼、受託とも減少傾向にある。

しかしながら、世界的な発表文献数の増加も手伝い、入手の難しい文献についての取り寄せ依頼の割合が増えている。また、冊子の所蔵調査に留まらず、電子ジャーナルとして公開されていないか調査を行う必要があるため、処理件数の減少は業務量の減少には直結していない。

（５）読書奨励

１）図書のテーマ別展示

学生の利用促進を目的として、時期や季節に合わせた図書に本学の学生が作成した推薦図書の POP を添えて特設コーナーに展示する企画を実施した。

（６）自学自習環境の整備

【資料】Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力、Ⅲ-5-2 図書館利用者用端末台数 Ⅲ-5-3 アクティブ・ラーニング・スペース、Ⅲ-5-4 グループ学習室の設備

本館

利用者の多様な学習スタイルに対応するため、グループ学習室 5 室、閲覧個室 4 室、マルチメディアコーナー、オンライン作業用個人ブースを設置している。

また、4 階には 208 m²の「多目的学習スペース」を設置しており、学生の自主的なグループ学習やディスカッション及び授業など、アクティブラーニングを実践する場として利用されている。

医学分館

利用者の多様な学習スタイルに対応するため、ディスカッションルーム 4 室、個室 2 室、コラボレーションエリアを設置している。コラボレーションエリアには可動式の机・椅子・ソファを配置し、ラーニング・コモンズ、として活用できるように整備している。

（７）広報

【資料】Ⅲ-1-3 電子書籍アクセス数

１）図書館 Web サイト、SNS

本学の学生・教職員・学外の方を対象に、図書館の利用案内、施設案内、蔵書検索案内、図書館の諸活動について記録した図書館報等の情報を発信しており、スマートフォンやタブレット端末にも最適な表示を実装するマルチデバイス対応を行っている。また、X では、新刊本の入荷、イベント等の情報発信に加え、台風による臨時閉館など緊急情報を広く周知する場合にも発信している。

２）広報誌

学生をターゲットに、図書館の利用方法や各サービス、設備などを紹介した情報誌「さらり」を年 1 回 4 月に発行している。また、図書館の活動報告や利用統計、館内案内等を掲載した図書館報「ひかり野」を年 1 回 6 月頃に発行（電子媒体のみ）している。

3) 電子メールによる広報等

教職員向けに講演会の開催案内、臨時休館等、図書館サービスの案内を電子メールにより配信している。学生向けには、学生情報システム（ライブキャンパス）を使って電子メールの配信や、お知らせの掲示を行っている。

4) 電子書籍の広報

電子書籍一点ごとにアクセス先の QR コードを記載したミニチラシを作成し、館内、学部の学生が集まる場所に配置し、定期的に入れ替えを行った。また、学生のポータルサイトを通じての広報、学生向けのメールでの周知を行った。令和7年度の電子書籍の利用数は前年度の2倍以上に増えた。

(8) 評価及び課題

評価（優れた点・特色ある点）

令和6年度に続き、令和7年度においても選書ツアーを実施できたことは、非常に意義深く評価される取り組みである。学生が自ら書店で図書を選ぶ体験を通じて、読書への関心を高める貴重な機会となった点も高く評価できる。また、本館・分館の両館において、所蔵図書の利活用促進を目的としたテーマ展示を実施した。これらのイベントは、学生の読書意欲の向上や図書館利用の促進につながることを期待されるため、総じて評価に値する取り組みである。さらに、電子書籍の広報に注力し、利用が増えていることは評価できる。

2 研究支援

(1) 研究用資料の収集

図書、学術雑誌、その他の教育研究上必要な資料は附属図書館長の管理下に置き、附属図書館、学部、センター等に配置している。

資料の有効利用のため、附属図書館では図書、学術雑誌、電子ジャーナル等すべての資料を包含した蔵書データベースを維持管理し、所蔵・配置等の最新情報を Web 上で公開して利用の便を図っている。

本庄キャンパスの図書配置割合は、附属図書館約 80%、部局等約 20%である。学術雑誌は、附属図書館に農学・理工系学術雑誌を集中的に配架し、利用に供している。一部の学部等では、学部や学科等の単位で図書資料室を置き、専門領域に関する図書・雑誌をはじめ国内外の大学論集・紀要等を収集配架している。

鍋島キャンパスでは、旧医科大学時代から全図書、全雑誌を医学分館に集中配架し、教員、学生・院生の研究及び教育に供している。

(2) 電子ジャーナル

【資料】Ⅲ-2-1 電子ジャーナル導入状況、Ⅲ-2-2 電子ジャーナルアクセス数

令和6年度以降の契約について、エルゼビアパッケージおよび、シュプリングー個別タイトル、ネイチャー本誌を契約している。エルゼビアについては、令和7年度から論文のオープンアクセス化推進、APC 支援の観点から転換契約へ変更し、28 報のオープンアクセスを実現することができた。

* 転換契約・・・従来別々に支払っていた購読料と論文掲載料を包括した契約で、大学の支出総額を抑制する効果が期待でき、研究者にとっては投稿した論文を誰でも無料で閲覧可能にできることで研究成果が広く活用できることが期待できる。

（３）文献等データベース

【資料】 Ⅲ-2-3 文献等データベースサービス

中央経費により契約しているスコーパスを継続契約している。

（４）研究情報・文献情報の電子化

【資料】 Ⅲ-2-4 佐賀大学機関リポジトリ登録数及び閲覧数

「佐賀大学機関リポジトリ」は紀要論文、博士論文を主として収集している。紀要論文の多くは、登録時の著作権処理について各部局との交渉を進め、包括許諾を得ているため、刊行のたびに著作権処理をすることなく登録可能であり、継続して登録を進めている。

学術論文について、機関リポジトリへの登録を呼びかけている。公的資金による助成を受けた学術論文等（2025 年度新規公募分より）の即時オープンアクセス義務化においても、学内研究者に周知していく予定である。

（５）評価及び課題

評価（優れた点・特色ある点）

令和 7 年度に向けて、オープンアクセス化の推進および APC（論文掲載料）支援の観点から、エルゼビア社の電子ジャーナルの転換契約を締結し、28 報のオープンアクセスを実現できたことは評価に値する取り組みである。

課題（改善すべき点）

学術論文の機関リポジトリへの登録について広報を行うとともに、引き続き、義務化された即時オープンアクセスについて周知を行う。また、転換契約を締結しているエルゼビア社のオープンアクセス化について、学内関係者へのさらなる周知が必要である。

3 社会貢献

（１）市民への情報サービス

【資料】 Ⅲ-3-1 市民への貸出状況

1) 入館、館内サービス

本館・医学分館共に、市民に利用開放し、貸出も行っている。（医学分館は、医学・看護学の専門書・雑誌を除き、一般書を貸出）

2) 佐賀県内図書館等との文献複写・相互貸借サービス

本館・医学分館ともに公共図書館等からの依頼に応じ、文献複写・相互貸借サービスを行っている。医学分館は近隣の病院図書室等からの依頼にも応じている。

また、佐賀県内の公共図書館、大学図書館等からなる独自の図書配送システム（佐賀県内図書館物流）へ令和 5 年 4 月から正式に参加しており、本学図書館の利用者や佐賀県内公共図書館の利用者が無償かつ迅速に図書を取り寄せることが可能となっている。

相互貸借は「佐賀県公共図書館と佐賀県大学図書館間の相互貸借規程」及び「県内相互貸借各館規定」に基づき運用している。

3) 佐賀県内図書館横断検索システム

佐賀県立図書館、県内の市町村立図書館及び県内の大学図書館の所蔵図書を横断的に検索できる佐賀県内図書館横断検索システムに参加し、県内の図書館と一体となった地域への蔵書検索サービスの提供を行っている。

4) 看護学教育研究支援センターとの連携

看護学教育研究支援センター所属の看護師に対して、指導教員と連携して利用者登録の申請手続きを案内し、医学・看護学の専門書の貸出及び文献複写取寄せサービスを行っている。

(2) 公開講座(講演会、展示会)

【資料】Ⅲ-3-2 図書館月間展示会

附属図書館では、市民に生涯学習の場を提供することを主目的として、毎年10月末から11月を「図書館月間」と称して、貴重資料展示等を行っている。

令和7年度は、「佐賀の防災～今と昔」をテーマに当館で所蔵している貴重書コレクションから数点を展示した。地域学歴史文化研究センター伊藤昭弘教授による貴重書展示解説および理工学部大串浩一郎教授による展示パネル解説が行われ、市民から好意的なコメントや同様のテーマでの開催を希望する声が聞かれた。また、図書館の利用促進を目的として、本学学生と連携し、企画イベントの募集を行い、その結果2件の企画(ボードゲーム会、百人一首体験会)を採択・実施した。各イベントは図書館を会場として開催し、学生・教職員のみならず地域住民も参加するなど、多様な主体が交流する場として有効に機能した。図書館の新たな活用方法を提示するとともに、利用者層の拡大につながられた。

(3) 評価及び課題

評価(優れた点・特色ある点)

本年度の展示企画は、「佐賀の防災～今と昔」をテーマとし、地域に根差した歴史資料と現代的課題とを結び付けて提示した点に特色がある。とりわけ佐賀県は、近年も豪雨による浸水被害が発生するなど水害と関わりが深い地域であり、過去の災害記録を、現在の防災意識の向上に資するものである。本展示は、歴史資料を通じて地域の災害の記憶を伝え、来館者が自らの生活と防災を結び付けて考える契機を提供した点において意義深い。さらに、教員による専門的な解説を取り入れたことで、資料の価値や背景に関する理解を深める機会を提供するとともに、大学図書館が有する学術的資源を効果的に発信することができた。来館者から継続開催を望む声が寄せられたことは、本取組の有用性および発展性を示すものと評価できる。学生提案による企画については、提案内容に沿って円滑に実施され、図書館を拠点とした多様な交流の場の創出に寄与した。企画立案および運営を学生が主体的に担ったことにより、学生の主体性や企画力の向上にもつながった点は大きな成果である。以上のことから、図書館の利用促進およびコミュニティ形成の観点において、一定の成果を上げたものと評価できる。

(3) 貴重資料

【資料】Ⅲ-3-3 附属図書館所蔵コレクション

佐賀鍋島の支藩、小城の鍋島家に伝えられた資料、佐賀や北九州の近世文学・民俗学研究で知られた故市場直次郎のコレクション等を所蔵している。

(4) 貴重資料の利用

【資料】Ⅲ-3-4 貴重資料の利用

1) 貸出

毎年、地域学歴史文化研究センターと佐賀県小城市教育委員会の共催で開催される企画展等に貴重資料を貸し出している。令和7年度は、以下のとおり貴重資料の提供を行った。

地域学歴史文化研究センターと小城市教育委員会共催の展示会「安定から動乱へ～小城藩歴代藩主とその時代～」へ小城藩日記等 16 点を貸し出した。

佐賀県立佐賀城本丸歴史館の展示会、小城藩日記・洋学資料コレクションの2点を貸し出した。

2) 貴重資料のデジタル公開

高精細な画像を用いて、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの条件に基づき附属図書館貴重資料デジタルアーカイブを公開している。

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス：<https://creativecommons.jp/licenses/>

3) 画像データの利用

所蔵コレクションの画像を用いて、地域学歴史文化研究センターが「小城藩日記データベース」を公開している。

4) 展示、講演会

令和6年10月から、本館1階において定期的に貴重書展示を行い、来館者に公開している。本年度のテーマは以下のとおり。

- ・黄檗宗と佐賀
- ・佐賀の防災～今と昔
- ・百人一首の世界
- ・佐賀が生んだ女性科学者～黒田チカのあゆみ

5) 保存

貴重資料を長期保存、利活用していくために、除湿機の新規設置、空調機の更新等を行っており、書庫内の温湿度等の環境をモニタリングしている。

(5) 評価及び課題

評価（優れた点・特色ある点）

貴重書庫に保存されている貴重資料について、昨年度と同様に定期的な入れ替えを行い展示・公開したことは、利用者への紹介に加え、資料の点検も兼ねており、資料の有効活用が継続的に図られている点で評価できる。

図書館月間の展示は、地域性と現代的課題を融合した展示構成により、来館者の理解促進に寄与した点が優れている。また、教員による解説の導入が展示の質を高める特色になった点で評価できる。

課題（改善すべき点）

貴重資料の展示・月間展示会を開催するにあたり、来場者の満足度を高め、展示の目的をより効果的に達成するためには、来場者が展示の価値や意義を実感できるような企画を検討する必要がある。また、公開講座として例年「図書館月間」中に貴重書の展示等を中心に実施しているが、新たな企画拡大についても検討する必要がある。

4 組織運営

(1) 組織の編成・管理運営

【資料】Ⅲ-4-1 附属図書館組織・機構図

1) 館長・副館長

附属図書館は、平成 30 年 4 月に現在の館長、副館長制で諸般の課題解決に当たることとした。

図書館長は、附属図書館の業務を掌理し、附属図書館に設置した各種委員会の委員長として審議の取りまとめを行うとともに、学内の教育研究評議会等の委員として大学の管理運営に参画している。

2) 運営委員会

①附属図書館運営委員会

平成 16 年 4 月の法人化後、佐賀大学図書館規則第 5 条第 1 項の規定に基づき、佐賀大学附属図書館運営委員会を設置した。医学分館には、佐賀大学図書館規則第 6 条第 2 項に基づき附属図書館医学分館運営委員会を設置した。

佐賀大学附属図書館運営委員会は、附属図書館の運営方針、諸規程の制定・改廃、予算等に関する重要事項を審議する組織で、附属図書館長（委員長）、副館長、及び各学部から選出された教員 6 名、総合情報基盤センター長、教育開発推進センター副センター長、館長が指名した者として学術研究部長の合計 11 名で構成されている。また、附属図書館運営委員会の下に、附属図書館運営委員会から付託された事項の審議を行う専門委員会を設置している。

令和 7 年度は、附属図書館運営委員会を 6 回開催し、附属図書館予算案（R7 年度）、附属図書館選書専門委員会要項の改正、佐賀大学図書館月間、電子ジャーナル購入、令和 9 年度施設整備事業・令和 8 年度学内営繕事業要求資料、図書の除籍について審議した。

②附属図書館医学分館運営委員会

附属図書館医学分館運営委員会は医学分館の運営、諸規程の制定・改廃、予算等に関する事項を審議する組織で、副館長、医学部選出の附属図書館運営委員、医学部等鍋島地区の教員 7 名の合計 8 名で構成されている。

令和 7 年度は、附属図書館医学分館運営委員会を 2 回開催し、医学分館予算案、図書の除籍などを審議した。

3) 専門委員会

①選書専門委員会

選書専門委員会は蔵書整備、学生用図書の収集、その他の図書館資料の選定収集に関することを掌る。

令和 7 年度は、選書専門委員会を 3 回開催し、附属図書館蔵書整備計画、教員個人推薦図書、学科推薦図書の購入などを審議した。

②貴重資料・地域貢献専門委員会

貴重資料・地域貢献専門委員会は、附属図書館所蔵の貴重資料の保存・公開・展示等及び附属図書館の地域貢献事業に関することを掌る。

③評価専門委員会

附属図書館の自己評価、中期目標・中期計画評価及び認証評価等に関することを掌る。

令和7年度は、評価専門委員会を2回開催し、附属図書館自己点検・外部評価書、課題に対する改善状況について審議・報告を行った。

4) 事務組織

【資料】Ⅲ-4-1 附属図書館組織・機構図 Ⅲ-4-2 附属図書館職員数

附属図書館の事務組織体制は、法人化後、人件費等管理運営経費の抑制及び効率的な大学運営による事務組織再編等により、令和7年4月現在では、情報図書館課長、副課長、総務主担当、図書管理主担当、学術情報主担当及び医学分館主担当の体制となっている。

5) 事務処理の効率化

研究用資料の購入依頼受付を Web ベースのシステムで行い図書館システムにデータとして取り込み、購入依頼受付から発注処理、発注状況の管理等を合理化している。また研究用資料の購入依頼時に必要となる財源の管理を、財務会計システムと図書館システムを連携させることにより効率化している。

令和6年度において、科学研究費で購入した図書(資産)の寄付申込申請書についてオンライン申請を実現した。これにより、学内便での書類のやり取りにかかる時間が1件あたり40%削減された。

令和7年度において、文部科学省の補助事業により導入した入館ゲートおよび図書資料のIC化により、業務の効率化を図った。さらに、業務効率化および従来業務の見直しによる業務分担の変更を行い、同年度より1名をオープンアクセス専任担当とし配置した。また、図書館広報誌「ひかり野」を内製化したことで、経費の節減を実現するとともに、誌面構成の柔軟性向上にも対応することができた。

6) 危機管理

鍋島地区における自衛消防隊の役割等を再認識することを目的としたeラーニングによる訓練に医学分館の職員1名、自衛消防組織内における情報伝達・指揮統制訓練に医学分館の職員2名が参加した。また、大規模地震対応消防計画に対応した本庄地区総合防災訓練に本館の職員8名(情報図書館課地区隊5名、負傷者3名)が参加している。

7) 職員研修

【資料】Ⅲ-4-3 職員研修状況

職員研修について、従来は常勤職員のみを受講対象としていたが、現在は非常勤職員にも参加機会を提供している。県内図書館で実施されている研修やオンライン研修に積極的に参加しており、令和7年度は延べ34名が参加した。

(2) 財務

1) 予算

【資料】Ⅲ-4-4 図書館経費

令和7年度の配当額は、一般運営経費116,221千円(うち電子ジャーナル経費50,000千円)であった。

本館

令和7年度の当初配分は、45,492千円である。この中から図書館維持費として30,670千円、図書購入費として14,822千円を充てた。また、電子ジャーナルの不足分として、科学研究費補助金等の間接経費から24,259千円の補填額があった。

医学分館

令和7年度の当初配分額は、20,729千円である。この中から図書館維持費として15,256千円、図書購入費として5,473千円を充てた。

なお、医学分館は、法人化時の合意に基づき医学部及び附属病院からも別途図書購入費の配分を受けている。

2) 決算

【資料】Ⅲ-4-4 図書館経費

本館・医学分館

支出内容を精査し、適切に予算を執行した。

3) 経費節減

【資料】Ⅲ-4-4 図書館経費

本館

当施設では、エネルギー使用量の削減を目的として、前年度比1%削減を目標に掲げ、各種省エネルギー対策に取り組んでいる。

令和7年度の光熱費については、電気・上下水道・ガスを総合すると、使用量の抑制に一定の成果が見られた。電気については使用量が前年度比2,294kWh減少し、経費も89,368円の削減となった。一方で、医学分館では使用量の増加が見られた。上水道は全体で使用量が10 m³減少したものの、金額はほぼ横ばいとなっている。下水道については使用量・金額ともに微減となり、概ね安定的に推移している。ガス使用については本館で増加がみられるものの、光熱費全体に占める割合が小さいことから、引き続き省エネルギー対策に取り組む。

(3) 評価及び課題

評価（優れた点・特色ある点）

従来、本施設における職員研修は常勤職員を主な対象としてきたが、近年は非常勤職員にも参加機会を拡大し、職員全体の資質向上を図る取り組みを進めている。具体的には、県内図書館が実施する各種研修やオンライン研修への参加を積極的に推進しており、その結果、令和6年度参加人数15名に対して、令和7年度は延べ34名と大幅に増加した。このことから、研修参加の対象拡大及び受講機会の充実が効果的に機能していると評価できる。また、非常勤職員を含めた幅広い職員が研修することで、業務知識やサービス水準の底上げが期待され、組織全体の対応力向上にも寄与していると考えられる。

5 施設・設備

(1) 施設・設備の整備状況

1) 施設・設備

【資料】Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力、Ⅲ-5-2 図書館利用者用端末台数 Ⅲ-5-3 アクティブ・ラーニング・スペース、Ⅲ-5-4 グループ学習室の設備

図書館総面積は本館 5,332 m²、旧館 332 m²、医学分館 1,769 m² 合計 7,433 m²である。

閲覧座席数は本館 629 席、医学分館 215 席、合計 844 席である。本館（平成元年 3 月竣工）は、竣工後建物及び設備の増築、大規模改修は行っていないが、書架スペース以外の閲覧スペースを利用しやすく、明るい場所に置くなど基本設計において利用者への配慮を行っている。医学分館（昭和 55 年 3 月竣工）は、令和 3 年度に全面改修を行っており、事務スペースの効率化によって創出されたスペースをグループ学習や自学自習等に活用している。

また、利用者に快適な環境を提供するため、夏季の冷房、冬季の暖房運転の維持と設備、物品の充実を図っている。また全館において徹底した清掃を行い、快適な学修環境を提供することに努めている。

安全面では、本館、医学分館とも館内の要所に防犯カメラを設置している。また、医学分館では、セキュリティ対策として緊急通報ボタンを設置している。

バリアフリー面では、本館・医学分館ともに車椅子対応のためのスロープ及びトイレを設置し、エレベータにはマルチビームドアセンサーを設置している。また、日本語に不慣れな利用者のために、館内サインに日本語と英語を併記し、一部にはピクトサインを採用している。

2) 書架・書庫

【資料】Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力

本館、医学分館ともに収蔵力の不足は深刻な問題であり、配架スペースの確保のため、計画的な除籍を実施し佐賀大学附属図書館除籍要領運用ガイドラインの改正を行った。

（2）施設、設備等の利用状況

【資料】Ⅲ-5-5 各室使用状況（本館）、Ⅲ-5-6 多目的学習スペース及びグループ学習室 5 入室状況（本館）、Ⅲ-5-7 会議室利用状況（本館）

新任教員研修及び各種職員研修のスケジュールに図書館利用の説明を組み込み、この中で図書館の利用方法や施設・設備等の紹介を行い、利活用を依頼した。

（3）評価及び課題

評価（優れた点・特色ある点）

本ガイドラインの改正により、除籍候補資料の選定基準が明確化・簡素化され、従来よりも効率的な除却作業の実施が可能となった。ガイドラインに沿った除籍を実施していくことにより書架の狭隘化の解消が一定程度進み、蔵書保管スペースの最適化に寄与することが期待できる。

資 料

Ⅱ 概要

Ⅱ-1 蔵書数

① 図書

(単位：冊)

年度	本 館			医学分館			合 計
	和	洋	計	和	洋	計	
R02	403,794	166,545	570,339	69,351	44,412	113,763	684,102
R03	405,211	166,491	571,702	69,591	43,007	112,598	684,300
R04	405,823	166,099	571,922	66,730	41,975	108,705	680,627
R05	406,627	166,196	572,823	66,315	40,268	106,583	679,406
R06	403,828	166,061	569,889	66,842	39,516	106,358	676,247
R07	397,719	164,486	562,205	66,563	39,269	105,832	668,037

② 雑誌

(単位：種)

年度	本 館			医学分館			合 計
	和	洋	計	和	洋	計	
R02	6,544	2,977	9,521	1,243	1,121	2,364	11,885
R03	6,544	2,977	9,521	1,247	1,122	2,369	11,890
R04	6,541	2,976	9,517	1,244	1,119	2,363	11,880
R05	6,535	2,975	9,510	1,236	1,110	2,346	11,856
R06	6,515	2,974	9,489	1,236	1,097	2,333	11,822
R07	6,511	2,972	9,483	1,235	1,090	2,325	11,808

③ 視聴覚資料

(単位：タイトル)

年度	本館	医学分館	計
R02	638	941	1,579
R03	638	1,057	1,695
R04	638	1,017	1,655
R05	638	1,017	1,655
R06	407	946	1,353
R07	288	988	1,276

Ⅱ-2 図書受入冊数

単位：冊

年度	本館	医学分館	計
R02	8,853	1,465	10,318
R03	9,337	1,643	10,980
R04	7,705	1,484	9,189
R05	2,076	670	2,746
R06	2,570	535	3,105
R07	2,785	1,150	3,935

Ⅱ-3 雑誌受入種類数

単位：種

年度	本館	医学分館	計
R02	2,779	350	3,129
R03	2,777	338	3,115
R04	2,773	332	3,105
R05	2,766	315	3,081
R06	2,745	302	3,047
R07	2,739	294	3,033

Ⅲ 領域別評価

1 教育支援

Ⅲ-1-1 利用対象者数

単位：人

年度	学生	教職員	計
R02	6,647	2,071	8,718
R03	6,598	2,078	8,676
R04	6,525	2,071	8,596
R05	6,541	2,068	8,609
R06	6,566	2,081	8,647
R07	6,646	2,118	8,764

Ⅲ-1-2 電子書籍導入状況

種類数

単位：タイトル

年度	国内	国外	計
R02	2,393	17,272	19,665
R03	2,731	17,272	20,003
R04	3,006	17,272	20,278
R05	2,986	17,285	20,271
R06	6,708	5,332	12,040
R07	5,133	17,791	22,924

Ⅲ-1-3 電子書籍アクセス数

単位：件

年 度	EBSCOhost eBook Collection	Maruzen eBook Library	LibrariE	KinoDen
R02	68	1,435		
R03	198	3,514	1,429	
R04	28	2,117	734	
R05	51	1,992	249	
R06	83	1,709	209	676
R07	246	2,551	1,392	3,238

Ⅲ-1-4 図書除籍冊数

単位：冊

年度	本館	医学分館	計
R02	458	3,504	3,962
R03	1,149	2,487	3,636
R04	2,876	5,015	7,891
R05	1,175	2,792	3,967
R06	5,504	760	6,264
R07	10,469	1,676	12,145

Ⅲ-1-5 開館時間

① 本館

学 期	曜 日	時 間	備 考
授業期 (試験期間含む)	月～金曜日	8:30 ～ 21:00	(休館日) 2月, 3月, 8月の第4木曜日 (祝日の場合は開
	土曜日・日曜日・祝日	10:00 ～ 18:00	

休業期 (授業期以外)	月～金曜日	8:30 ～ 20:00	館する) 夏季一斉休業日 年末年始
	土曜日・日曜日・祝日	10:00 ～ 18:00	

② 医学分館

曜 日	時 間	備 考
月～金曜日	8:30 ～ 21:00	(休館日) 夏季一斉休業日 年末年始
土曜日・日曜日・祝日	10:00 ～ 18:00	

Ⅲ-1-6 年間開館日数等

① 本館

年度	開館日数 (日)				開館時間数 (時間)		
	平日	土曜	休日	計	時間内	時間外	計
R02	188	0	0	188	1,504	0	1,504
R03	233	47	60	340	1,976	1,704	3,680
R04	238	47	60	345	2,018	1,720	3,738
R05	236	50	61	347	2,006	1,754	3,760
R06	235	48	60	343	1,998	1,716	3,714
R07	231	48	63	342	1,956	1,681	3,637

(注) R2 は新型コロナ対策で開館時間を短縮したため、平日 8:30-16:30 (8 時間) として計算

② 医学分館

年度	開館日数 (日)				開館時間数 (時間)		
	平日	土曜	休日	計	時間内	時間外	計
R02	179	0	0	179	1,534	39	1,573
R03	171	35	0	206	1,356	805	2,161
R04	226	45	60	331	1,978	1,687	3,665
R05	239	50	66	355	2,088	1,813	3,901
R06	239	49	65	353	2,091	1,804	3,895
R07	237	49	63	349	2,074	1,785	3,859

Ⅲ-1-7 入館者数

① 本館

年度	開館日数 (日)	時間内 (人)	時間外 (人)	合 計 (人)	1 日平均 (人)
R02	188	11,066	0	11,066	59
R03	340	37,621	19,493	57,115	168
R04	345	51,865	34,279	86,174	250
R05	347	65,254	51,060	116,314	335
R06	346	72,820	50,318	123,138	356
R07	342	85,707	28,878	114,585	335

※令和 2 年度以降は、コロナ対策により入館者のカウント方法を変更

※令和 7 年 3 月以降は、入退館ゲートの更新により入館者のカウント方式が変更

② 医学分館

年度	開館日数（日）	時間内（人）	時間外（人）	合 計（人）	1日平均（人）
R02	179	8,343	222	8,565	48
R03	206	4,485	916	5,401	26
R04	331	44,973	13,897	58,870	178
R05	355	49,968	10,141	60,109	169
R06	353	51,241	8,924	60,165	170
R07	349	50,093	11,536	61,629	177

Ⅲ-1-8 貸出条件

① 本館

種 類		対 象	期 間	冊 数
個人貸出し		学生・教職員等学内利用者	2週間	図書 10冊
			1週間	シラバス図書 3冊
			1週間	雑誌 3冊
		学外利用者	2週間	図書 5冊
研究室貸出し		教員	1年間 更新可（自動更新）※	当該予算で購入したもので必要とする冊数
特別貸出し	休業期	学内利用者	休業期間終了日の翌日まで	個人貸出と同条件
	卒論等	学部学生・大学院生	8週間	図書 5冊
	実習	学部学生・大学院生	実習期間内	図書 5冊

② 医学分館

種 類		対 象	期 間	冊 数
個人貸出し		学生・教職員等学内利用者	2週間	図書 5冊
			3日	指定図書 3冊
			3日	雑誌 3冊
			3日	視聴覚資料 3点
		学外利用者	2週間	図書 5冊 （教養図書に限る）
研究室貸出し		教職員	1年間 更新可（自動更新）※	当該予算で購入したもので必要とする冊数
特別貸出し	休業期	学生等	休業期間終了日の翌日まで	図書 3冊

※貸出期間については、当該教（職）員による返却の申し出がない限り自動更新とする。

Ⅲ-1-9 館外貸出状況

① 本館

年度	貸出者数（人）				貸出冊数（冊）			
	学生	教職員	一般	計	学生	教職員	一般	計
R02	3,811	881	0	4,692	7,926	1,785	0	9,711
R03	9,822	1,547	0	11,371	17,661	3,119	0	20,780
R04	12,334	1,510	92	13,936	20,035	2,908	262	23,205
R05	10,775	1,519	376	12,670	18,245	2,679	937	21,861

R06	9,935	1,558	342	11,835	16,590	2,700	758	20,048
R07	10,044	1,529	397	11,970	18,593	3,555	876	23,024

② 医学分館

年度	貸出者数（人）				貸出冊数（冊）			
	学生	教職員	一般	計	学生	教職員	一般	計
R02	1,719	717	0	2,436	3,535	1,562	0	5,097
R03	1,602	460	0	2,062	2,647	948	0	3,595
R04	3,402	1,094	0	4,496	4,914	1,949	0	6,863
R05	2,802	1,015	5	3,822	4,263	1,794	17	6,074
R06	2,447	1,369	17	3,833	3,564	2,492	39	6,095
R07	1,903	1,160	13	3,076	3,022	2,225	49	5,296

Ⅲ-1-10 オリエンテーション実績（本館）

年度	初級コース		中級コース	
	回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）
R02	0	0	1	10
R03	0	0	1	10
R04	0	0	1	10
R05	23	1,104	13	162
R06	19	1,063	9	104
R07	21	1,149	14	124

Ⅲ-1-11 図書館間相互貸借冊数

単位：冊

年度	本 館		医学分館	
	借 受	貸 出	借 受	貸 出
R02	51	124	11	7
R03	104	128	3	23
R04	184	127	14	27
R05	146	142	26	21
R06	150	148	22	20
R07	128	129	12	11

Ⅲ-1-12 図書館間の文献複写件数

単位：件

年度	本 館		医学分館	
	依 頼	受 付	依 頼	受 付
R02	384	218	759	562
R03	565	259	1,310	135
R04	523	223	907	425
R05	452	156	729	503
R06	421	157	664	438
R07	326	144	516	370

Ⅲ-1-13 図書館Web ページのアクセス数

年度	ユーザー数	デバイス別ユーザー割合 (%)	
		PC	mobile, tablet
R02	25, 273	50	50
R03	30, 287	46	54
R04	33, 124	42	58
R05	30, 020	46	54
R06	26, 890	49	51
R07	25, 333	53	47

2 研究支援

Ⅲ-2-1 電子ジャーナル導入状況

① 購入パッケージ

年 度	Elsevier Science Direct	Springer LINK	Nature
R02	○	○	○
R03	○	○	○
R04	○	○	○
R05	○	○	○
R06	○		○
R07	○		○

② 種類数

年度	種類数 (種)
R02	5, 565
R03	6, 245
R04	10, 133
R05	8, 733
R06	1, 883
R07	1, 879

Ⅲ-2-2 電子ジャーナルアクセス数

年 度	Elsevier Science Direct	Springer LINK	Nature
R02	111, 744	25, 584	5, 675
R03	117, 496	30, 427	9, 383
R04	124, 005	38, 194	3, 853
R05	124, 138	34, 221	4, 187
R06	125, 798		5, 145
R07	92, 866		4, 664

Ⅲ-2-3 文献等データベースサービス

国 内		国 外	
名称	利用数（件）	名称	利用数（件）
朝日新聞クロスサーチ	1,142	日経 BP 記事検索サービス*	2,265
ヨミダス	3,065	Scopus	21,843
日経テレコン 21	63,543	UpToDate	3,669
ジャパンナレッジ	2,601	メディカルオンライン	17,046
医中誌 Web	25,204	Academic OneFile	535 (total item requests)

* 本文では電子ジャーナル種として集計しているもの

Ⅲ-2-4 佐賀大学機関リポジトリ登録数及び閲覧数(令和7年度)

単位：件

コンテンツの種類	登録数		閲覧数	
	一次情報	二次情報	閲覧回数	ダウンロード数
紀要論文	4,661	8,609	521,720	1,094,875
博士論文	457	1,930		
雑誌論文 他	711	2,188		
合 計	5,829	12,727		

3 社会貢献

Ⅲ-3-1 市民への貸出状況

年度	本 館		医学分館	
	貸出者数（人）	貸出冊数（冊）	貸出者数（人）	貸出冊数（冊）
R02	0	0	0	0
R03	0	0	0	0
R04	92	262	0	0
R05	376	937	5	17
R06	342	758	17	39
R07	397	876	13	49

Ⅲ-3-2 図書館月間展示会

年度	展示名	展示内容
R02	「大内文庫」展	鹿児島大学名誉教授であった大内初夫氏収集の江戸時代から明治期にかけての俳諧書を展示した。展示資料の写真と説明を図書館ホームページで公開した。
R03	「京都のみやびと小城藩」に関する資料	小城鍋島文庫から、当時の小城藩領主と朝廷との文化的交流や、小城の人々があこがれ取り入れた京都のみやびな文化の様子をうかがうことができる書物を貴重書デジタルアーカイブで公開した。
R04	附属図書館貴重書コレクション小城鍋島文庫展	小城鍋島文庫から、江戸時代から大正時代にかけての佐賀における疫病と人びととのたたかいについて史料を展示した。また、図書館ホームページにおいても史料を解説とともに電子展示した。
R05	牧野富太郎の図書展	附属図書館で所蔵している牧野富太郎博士の植物図鑑や著書を中心に関連図書を展示した。宮脇名誉教授による展示解説を行った。
	附属図書館貴重書コレクション小城鍋島文庫展	「小城藩日記」から描き出される近世小城の歴史の一部を、小城鍋島文庫を用いて解説とともに展示した。

R06	「幕末の佐賀と学問：明治維新への道」 クイズで学べる図書館脱出ゲーム (学内利用者向け)	小城鍋島文庫 江戸後期 佐賀大学地域学歴史文化研究センター所蔵『仏国行路記』(写真)、 『小車集』 小城鍋島文庫 資料 39 「旧約全書・新約全書」 市場直次郎コレクション篠田千果『明治英名百詠撰』を展示した。尚、 本学の三ツ松誠准教授による展示解説やポスターの作成も行った。 図書館内の施設、図書資料を自ら探索しながらクイズを解き、正解へたどり着く過程で、図書館に関する理解を深めていくことを行った。
R07	学生企画イベント 佐賀大学附属図書館利用促進イベント 「ボードゲーム体験」 (令和7年10月22日実施) 「百人一首体験会」 (令和7年12月3～12月4日実施)	団体名：アナログゲーム会 ASO 部 ボードゲーム体験型の取り組みとして、本に関するボードゲームを実施することで、図書の貸し出しの促進を図った。 具体的には「みんなで本をもちよって」「蔵の中」「Ito」を実施した。また、ボードゲーム実施時に利用できるスペースについて説明を行い、図書館の利用促進にもつながった。 団体名：文芸部 初心者や予備知識のない方も楽しめるよう、「坊主めくり」と「散らし取り」を中心に実施した。 百人一種を通じて参加者同士の会話が生まれ、交流を深めることができたほか普段図書館をあまり利用しない学生の興味喚起にもつながった。さらに、古典文学や文化の関心が高まった。

Ⅲ-3-3 附属図書館所蔵コレクション

	コレクション名	内 容
地域資料コレクション	小城鍋島文庫	佐賀鍋島の支藩、小城の鍋島家に伝えられた貴重な図書・文書で、当主鍋島直浩氏のご厚意と西島製作所原田龍平氏のご配慮により、昭和35年に寄贈され、昭和38年には小城町教育委員会から小城鍋島家旧蔵漢籍が寄贈されたもので、1万点を超える国書、漢籍、歴史史料からなる。
	唐津藩庄屋文書	唐津藩の庄屋史料を中心に地方(じかた)文書を含む約1,000点の近世中・後期から明治にかけての庄屋史料である。
	深江文書	深江家に伝わる美濃派俳諧の資料で、深江汨央氏より平成5年に寄贈されたものであり、江戸中期から明治初期に佐賀で編まれた49点の俳書である。
	江藤新平関係文書	明治維新の政治家、江藤新平に関する資料をマイクロフィルム化したもので、佐賀県立図書館に所蔵されている1,400点余の資料と、江藤家に秘蔵されていた未公開資料130点を含んでいる。明治初期の政治・法制成立課程の研究や江藤研究の貴重な資料である。
	佐賀地方裁判所資料	佐賀地方裁判所より、平成11年に寄贈を受けたもので、明治初期から昭和初期に至るまでの裁判制度に関する資料であり、佐賀地方に限定されているとはいえ、明治初期から昭和初期までの地方における裁判の全体像を知ることができる貴重な資料である。
	市場直次郎コレクション	佐賀や北九州の近世文学・民俗学研究で知られた故市場直次郎氏が蒐集した、扇面・色紙・和書・掛軸等1,900点余のコレクションを3期にわたって購入した。コレクション中、近世の文人が描いた書画の扇面は502点にも及び、全国でも他に例がないものである。 (第1期分のみ文部科学省大型コレクション経費 平成13年度採択)
	洋学資料コレクション	我が国洋学発達史上、学術的価値のある資料である。 「和蘭字彙」、「草木花実写真図」、「西遊旅譚」、「蘭学逕」、「和蘭産物考」、「蘭学階梯」、「和蘭薬鏡」 (岡本基金-教育研究助成奨学寄附金)
	大内文庫	平成15年9月に亡くなられた、鹿児島大学名誉教授・文学博士、大内初夫氏が収集された俳諧書類で、江戸時代(元禄期)から明治中期にかけての俳諧書298点445冊、

		俳諧書複製本 23 点、軸物 18 点、器財（文台）1 点を内容とする。 (岡本基金-教育研究助成奨学寄附金)
	佐賀新聞DVD	明治 17 年の創刊号から平成 19 年までの記事を図書館内の専用パソコンで見ることができ、日付検索の機能を持ち、紙面全体や個別の記事を表示、印刷することができる。 (学長経費-予備費)
研究用 コレク ション	東寺百合文書	東京大学史料編纂所が京都教王護国寺（通称東寺）旧蔵文書の影写本をマイクロフィルム化したもの。文書には、鎌倉・室町時代の東寺関係諸記録約 1,000 点を含み、東寺の寺院経営や寺院の荘園に関する寺院経済関係の記録が豊富である。 (文部科学省大型コレクション経費 昭和 56 年度採択)
	バイルシュタイン 有機化学全書	Beilsteins Handbuch der Organischen Chemie. 炭素化合物の物理的、化学的諸特性に関する百科事典 (文部科学省大型コレクション経費 昭和 62 年度採択)
	国立国会図書館所蔵 明治期産業翻訳書集成	明治期のお雇い外国人官僚技術者、知識人の外国事情、学術研究書などの翻訳と報告をマイクロフィルム化したもの。万国博覧会編、農業編、工業編、産業史編に分かれている。 (文部科学省大型コレクション経費 平成元年度採択)
	1990 世界農林業センサス農業集落カード	農業の国勢調査ともいえるべき農林業センサスの調査結果の一つで、農村地域の最小単位である全国約 13 万 4 千の農業集落について調査結果を整理統合した資料。 (文部科学省大型コレクション経費 平成元年度採択)

Ⅲ-3-4 貴重資料の利用

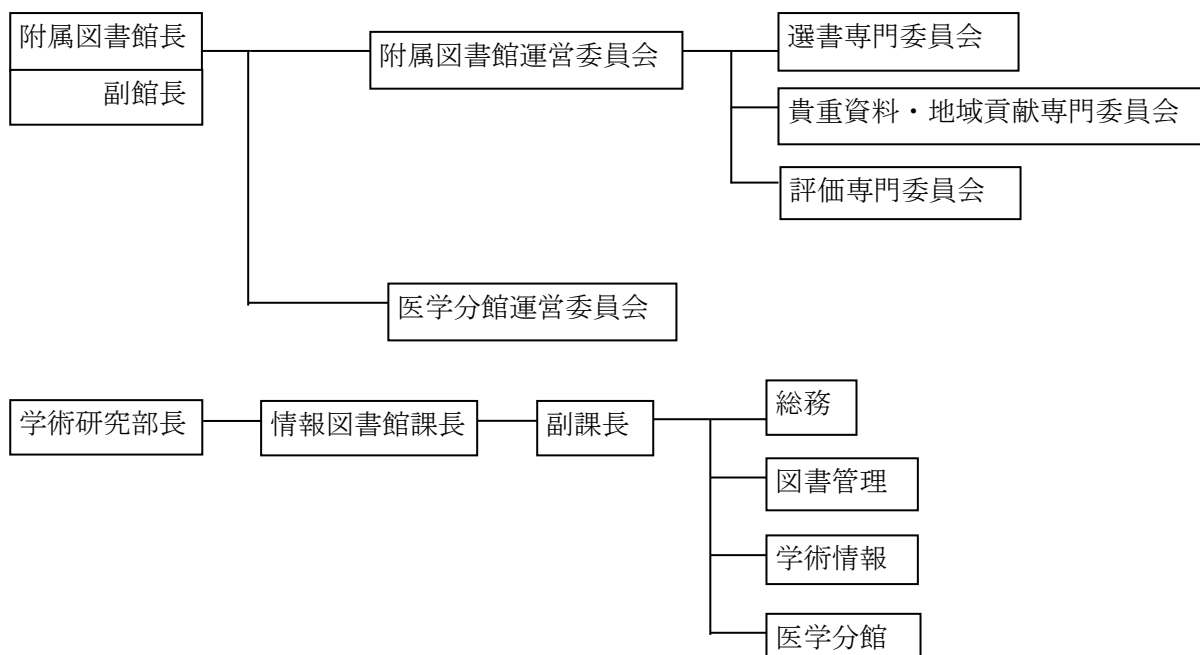
年度	展 示 名	展 示 内 容
02	①「美術館で身体を考える」（令和2年9月29日（火）～10月25日（日）於：佐賀大学美術館） ②「小城藩日記の世界-近世小城 200 年の記憶-」（令和2年10月24日（土）～12月13日（日）於：小城市立歴史資料館）	①小城鍋島文庫から「和漢三才図絵」「人工體普録」 ②小城鍋島文庫から「小城藩日記 天和2年」ほか20点
03	①「いのちを守る一疫病と小城」（令和3年11月6日（土）～12月19日（日）於：小城市歴史資料館）	①小城鍋島文庫から「小城藩日記」7点 「本草綱目」「和漢三才図会」
04	①「佐賀藩と小城藩-本家と分家の複雑な関係-」（令和4年11月5日（土）～12月18日（金）於：小城市歴史資料館）	①小城鍋島文庫から「小城藩日記」3点 「申付状」「徳川家斉御内書」「直能公御年譜」「元武公年譜」 「文政七申年五月長崎表御番所其外御見廻御代勤一件控」 「御状方日記」「老中奉書」
05	①「江戸時代の災害と小城」（令和5年11月3日（金・祝）～12月17日（日）於：小城市歴史資料館）	①小城鍋島文庫から「小城藩日記」11点 「日記目録」「老中奉書」「天保十一年子七月九日より十一日迄 同八月五日より六日迄両度之大風雨洪水二而破損所目安」「玉毫寺通路橋掛替許可」「佐嘉御取合帳目安」「御状方日記」
06	①「幕末の佐賀と学問」明治維新への道（令和6年10月25日（金）～11月28日（木）於：佐賀大学附属図書館） ②「小城的士族と佐賀事変」（令和6	・小城鍋島文庫 資料 20 大庭雪斎訳「レイドタラード」序目 江戸後期 ・佐賀大学地域学歴史文化研究センター所蔵 資料 23 『仏国行路記』（写真）昭和 11 年 ・佐賀大学地域学歴史文化研究センター所蔵 資料 25 『小車集』 慶応 3 年（1867 年） ・小城鍋島文庫 資料 39 「旧約全書・新約全書」 咸豊 5～7 年（1855～1857 年） ・市場直次郎コレクション 典籍 179 篠田千果『明治英名百詠撰』 ・小城鍋島文庫から「小城藩日記」1 点、「佐賀藩戊辰の役秋田藩

	年11月2日（土）～12月15日（日）於： 小城市歴史資料館） ③「佐賀を動かす～若き日の鍋島茂義と佐賀藩政～」（令和7年2月8日（土）～3月9日（日）於：武雄市図書館・歴史資料館）	領絵地図」 ・小城鍋島文庫よから「小城藩日記」5点「老中奉書」「鍋島若狭ほか連署起請文」「文政七申年五月長崎表御番所其外御見廻御代勤一件控」等6点
07	① 「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録 10 周年記念企画展「幕末維新のエネルギー ―近世肥前の石炭史―」（令和7年7月4日（金）～9月7日（日）於：佐賀県立佐賀城本丸歴史館 ② 「安定から動乱へ～小城藩歴代藩主とその時代～」展（令和7年10月31日（金）～12月14日（日））於：小城市立歴史資料館企画展示室 ③ 「さが歴史の道-往還し、交わり、続いていく-」（令和8年3月13日（金）～5月10日（日））於：佐賀県立佐賀城本丸歴史館	①小城藩日記「日記 安政六年四月ヨリ六月マテ」 ②小城鍋島文庫から「小城藩日記」7点等16点 ③洋学資料コレクションから『西遊旅譚』（司馬江漢）

4 組織運営

Ⅲ-4-1 附属図書館組織・機構図

令和7年4月



Ⅲ-4-2 附属図書館職員数

(5月1日現在) 単位：人

年度	本館			医学分館			合計		
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
R02	9(4)	8(5)	17(9)	1(1)	4(2)	5(3)	10(5)	12(7)	22(12)
R03	7(4)	8(5)	16(9)	2(1)	4(2)	6(3)	9(5)	12(7)	21(12)
R04	6(4)	8(5)	14(9)	1(0)	4(2)	5(2)	7(4)	12(7)	19(11)
R05	9(4)	8(5)	17(9)	2(0)	4(2)	6(2)	11(4)	12(7)	23(11)
R06	9(4)	8(5)	17(9)	1(0)	4(2)	5(2)	10(4)	12(7)	22(11)
R07	10(4)	8(5)	18(9)	1(0)	4(2)	5(2)	11(4)	12(7)	23(11)

(注) () 書は司書数で内数

Ⅲ-4-3 職員研修状況

年度	研修名	場所	人数(人)
R02	佐賀県立図書館主催研修会	オンライン	5
	九州地区医学図書館員セミナー	オンライン	10
	国立大学図書館協会地区協会助成研修	オンライン	19
R03	佐賀県立図書館主催研修会	オンライン	12
	九州地区医学図書館員セミナー	オンライン	1
	国立大学図書館協会地区協会助成研修	オンライン	1
	大学図書館職員短期研修	オンライン	1
	日本古典籍講習会	オンライン	2
	中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー	オンライン	2
R04	佐賀県立図書館主催研修会	佐賀市	2
	佐賀大学係長研修	佐賀市	1
	九州地区国立大学法人等係長研修	福岡市	1
	九州地区国立大学法人等テーマ別研修	オンライン	4

	九州地区医学図書館員セミナー	オンライン	1
	国立大学図書館協会地区協会助成研修	オンライン	3
R05	佐賀県立図書館主催研修会	佐賀市	8
	漢籍担当職員講習会	京都市	1
	九州地区国立大学法人等テーマ別研修	大分市	1
	佐賀大学フォローアップ研修	佐賀市	1
	中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー	オンライン	3
	佐賀大学中堅職員研修	佐賀市	1
	九州地区医学図書館員セミナー	オンライン	2
R06	佐賀県立図書館主催研修会	佐賀市	4
	九州地区医学図書館員セミナー	オンライン	3
	国立大学図書館協会地区協会助成事業セミナー	オンライン	2
	大学図書館職員長期研修	つくば市	1
	司書の集い	佐賀市	2
	福岡県、佐賀県大学図書館協議会南部地区研修会・総会	オンライン	2
	佐賀大学中堅職員ステップアップ研修	佐賀市	1
R07	佐賀県立図書館主催研修会	佐賀市	22
	九州地区医学図書館員セミナー	オンライン	1
	国立大学図書館協会地区協会助成事業研修	佐賀市	7 30（本学以外参加者）
	司書の集い	佐賀市	2
	福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究・総会	佐賀市	1
	福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会 OA 事例発表	佐賀市	1

Ⅲ-4-4 図書館経費

① 本館予算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費		計
		図書購入費	電子ジャーナル経費 (間接経費等含む)	
R02	31,450	15,525	76,235	123,210
R03	33,410	15,525	76,673	125,608
R04	31,100	15,525	78,263	124,888
R05	31,100	15,525	78,409	125,034
R06	31,100	15,525	74,132	120,757
R07	31,581	14,826	74,259	120,666

(注1) 令和2年度は電子ジャーナル経費として一般運営経費 50,000 千円プラス 25,000 千円(科研費補助金等間接経費)及び学長裁量経費 1,235 千円を計上した。

(注2) 令和3年度は電子ジャーナル経費として一般運営経費 50,000 千円プラス 26,673 千円(科研費補助金等間接経費)を計上した。

(注3) 令和4年度は電子ジャーナル経費として一般運営経費 50,000 千円プラス 28,263 千円(科研費補助金等間接経費)を計上した。

(注4) 令和5年度は電子ジャーナル経費として一般運営経費 50,000 千円プラス 28,409 千円(科研費補助金等間接経費)を計上した。

(注5) 令和6年度は電子ジャーナル経費として一般運営経費 50,000 千円プラス 24,132 千円(科研費補助金等間接経費)を計上した。

(注6) 令和7年度は電子ジャーナル経費として一般運営経費 50,000 千円プラス 24,259 千円(科研費補助金等間接経費)及び学長裁量経費 4 千円を計上した。

② 本館決算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費		計
		図書購入費	電子ジャーナル経費 (間接経費等含む)	
R02	29,028	15,525	76,235	120,788
R03	34,008	15,525	76,669	126,202
R04	30,838	15,284	78,263	124,385
R05	29,280	16,457	78,409	124,146
R06	29,687	16,369	74,132	120,188
R07	33,840	13,057	74,318	121,215

③ 医学分館予算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費		計
		図書購入費	医学部経費	
R02	13,651	5,500	45,124	64,275
R03	11,691	5,500	45,124	62,315
R04	14,201	5,500	45,451	65,152
R05	14,201	5,500	45,452	64,953
R06	14,337	5,500	46,263	66,100
R07	15,884	5,473	51,859	73,216

④ 医学分館決算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費	計
R02	9,605	50,633	60,238
R03	12,046	49,601	61,647
R04	14,809	50,986	65,795
R05	14,371	50,270	64,641
R06	14,515	49,367	63,882
R07	16,385	49,845	66,230

※医学分館の予算・決算は、附属図書館の決算書の医学分館及び医学部経費の合計

⑤ 電気使用実績

区 分	令和 6 年度実績		令和 7 年度実績		差異 (R7-R6)	
	使用量 (kwh)	金 額 (単位:円)	使用量 (kwh)	金 額 (単位:円)	使用量 (kwh)	金 額 (単位:円)
本 館	300,885	7,255,925	289,879	7,030,839	△11,006	△225,086
医学分館	84,778	1,697,358	93,490	1,833,076	8,712	135,718
合 計	385,663	8,953,283	383,369	8,863,915	△2,294	△89,368

⑥ 上水道使用実績

区 分	令和 6 年度実績		令和 7 年度実績		差異 (R7-R6)	
	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)
本 館	620	181,139	636	186,960	16	5,821
医学分館	293	66,492	267	60,350	△26	△6,142
合 計	913	247,631	903	247,310	△10	△321

⑦ 下水道使用実績

区 分	令和 6 年度実績		令和 7 年度実績		差異 (R7-R6)	
	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)
本 館	620	194,393	636	199,235	16	4,842
医学分館	263	83,139	239	75,757	△24	△7,382
合 計	883	277,532	875	274,992	△8	△2,540

⑧ ガス使用実績 (本館のみ)

区 分	令和 6 年度実績		令和 7 年度実績		差異 (R7-R6)	
	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)	使用量 (m³)	金 額 (単位:円)
本 館	23	3,916	30	5,420	7	1,504

5 施設・設備

Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力

① 面積 単位: m²

	合計
本 館	5,332
旧館書庫	332
医学分館	1,769
合 計	7,433

② 閲覧座席数

単位: 席

	1 階	2 階	3 階	4 階	合 計
本 館	192	97	263	77	629
医学分館	109	106	-	-	215
合 計	301	203	263	77	844

③ 書架収容力

	棚板延長 (m)	収容可能冊数 (冊)	書架配架冊数 (冊)	収蔵率 (%)
本 館	16,680	463,333	442,544	95
医学分館	4,259	118,306	106,358	90
合 計	20,939	581,639	551,249	95

Ⅲ-5-2 図書館利用者用端末台数

単位: 台

	据置き	貸出し	計
本館	0	0	0
医学分館	10	0	10
計	10	0	10

Ⅲ-5-3 アクティブ・ラーニング・スペース

(5月1日現在)

	面積 (m²)	運営体制 (人)			
		職員 (図書館)	職員 (図書館以外)	教員	学生スタッフ
本館	750	3	0	0	0
医学分館	421	1	0	0	0
計	1,171	4	0	0	0

Ⅲ-5-4 グループ学習室の設備

① 本館

	座席数	設備
グループ学習室 1	16 席(予備 3 席)	プロジェクター、スクリーン、大型ディスプレイ ホワイトボード
グループ学習室 2	12 席(予備 8 席)	
グループ学習室 3	24 席	
グループ学習室 4	18 席	大型テレビ (ディスプレイとして使用可) BD/DVD/VHS プレイヤー、ホワイトボード
グループ学習室 5	22 席	大型ディスプレイ、ホワイトボード

② 医学分館

	座席数	設備
ディスカッションルーム A	12 席	ディスプレイ、BD/DVD プレイヤー、ホワイトボード
ディスカッションルーム B	6 席	ディスプレイ、BD/DVD プレイヤー、ホワイトボード
ディスカッションルーム C	6 席	ディスプレイ、BD/DVD プレイヤー、ホワイトボード
ディスカッションルーム D	8 席	ディスプレイ、BD/DVD プレイヤー、ホワイトボード

Ⅲ-5-5 各室使用状況 (本館)

年度	グループ学習室予約 (回)	閲覧個室 (人)
R02	0	0
R03	0	0
R04	487	38
R05	1,033	193
R06	1,703	226
R07	1,742	220

Ⅲ-5-6 多目的学習スペース 入室状況 (本館)

年度	多目的学習スペース入室者数 (人)
R02	-
R03	-
R04	9,736 (10 月以降)
R05	29,319
R06	32,833
R07	53,649

※令和 2 年度及び令和 3 年度においては、部屋が設置されていなかった。

Ⅲ-5-7 会議室利用状況 (本館)

年度	回数 (回)	時間 (時間)
R02	57	246
R03	97	398
R04	88	476
R05	72	359
R06	73	386
R07	70	468